

三 判斷ノ變形ニヨル直接推理

以上ハ判斷ノ眞僞關係ニヨリテ一ノ判斷カラ、之ト主位概念及ビ賓位概念ヲ同ジウセル判斷ノ眞僞ヲ推シタモデアルガ、以下單ニ判斷ノ形式ヲ變更シテ其ノ意義ヲ開展スルコトニヨリテ行ハルル直接推理ヲ説明スル。

(一) **換質法** Obversion 換質法トハ一個ノ判斷ノ意義ヲ變ゼズシテ單ニ其ノ質ヲ變ズルコトヲ云フノデアアル。即チ肯定的ノ判斷ヲ否定的ト爲シ、否定的ノモノヲ肯定的ニ改ムルノヲ云フ。例ヘバ「社會ハ有機體ナリ」ヲ「社會ハ無機體ニアラズ」ト改ムガ如シ。凡テ判斷ノ換質ヲ行フニハ其ノ賓概念ノ矛盾概念ヲ取りテ判斷ノ質ヲ變ズルノガ原則デアアル。但シソノ量ヲ變ジテハナラナイ。
今 A E I O ニ就イテ一般的形式ヲ示セバ次ノ如シ。

原命題 換質

S A P S E P P H P ノ矛盾概念ヲ示ス。

S E P S A P

S I P S O P

S O P S I P

或ル場合ニハ賓概念ノ反對概念ヲ用フル事モデキル。例ヘバ「此ノ塔ハ高シ」ヲ變形シテ「此ノ塔ハ低カラズ」、「此ノ水ハ冷カナリ」ヲ變形シテ「此ノ水ハ温カラズ」トシテモ差支ハナイ。勿論兩者ノ間ニ多少意味ノ變更ハアル、全然同一ノ判斷ト見ルコトハデキナイガ、シカシカカル變形ハ誤デハナイ。シカシ如何ナル場合ニモ反對概念ヲ用ヒテ差支ナイトハ云ヘナイ。即チ否定ノ判斷ノ場合ニハ反對概念ニヨリテ直チニ換質ヲ行フコトハデキヌ。例ヘバ「此ノ塔ハ低カラズ」ヲ「此ノ塔ハ高シ」ト直チニスルコトハ誤デアアル。前ノ場合ニ於テハ「高シ」ト云フコトハ「低カラズト」云フコトノ一部テ、其ノ中ニ包括サレルモノト見ルコトガデキタガ、「低カラズ」ト云フコトハ必ずシモ積極的ニ「高シ」ト云フ意味デハナイ。低クナイモノノ中ニハ高イモノノ外ニ、尙ホ高クモ低クモナイモノガ包括サレテ居ルカラデアアル。「此ノ水ハ冷カナラズ」ヲ變形シテ直チニ「此ノ水ハ熱シ」トスル場合モ同様デアアル。「此ノ林檎ハ赤シ」ヲ變ジテ「此ノ林檎ハ青カラズ」トスレバ選言的概念(又ハ離接概念)ヲ用ヒテ換質シタモノデアツテ、勿論純粹ノ換質デハナイガ、シカモ明カニ誤謬デハ無イ。然ルニ「此ノ林檎ハ赤カラズ」トイフ否定的判斷ヲ取りテ「此ノ林檎ハ青シ」トスレバ明瞭ニ誤謬ニ陥ル。此等ノ點カラ見ルモ肯定的判斷ト否定的判斷トノ間ニハ、其ノ立言ノ趣ニ差異ノ存スルコトガ理解サレル。

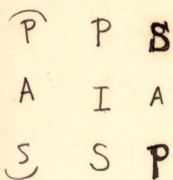
(二) **換位法** Conversion 換位法トハ判斷ノ主概念ト賓概念ノ位置ヲ轉換セシム

ルヲ云フ。例ヘバ「何人モ過ナキハアラズ」ヲ換位シテ「過ナキハ人ニアラズ」ト爲スガ如シ。此ノ換位ヲ爲スニ當リテ注意スベキハ、概念ノ周延ノ有無デアアル。

單純換位
限量換位
換質換位

原則トシテハ元來周延サレタ概念ヲ不周延ノ概念ニ改ムルコトハ差支ナイガ、元來不周延ノ概念ヲ新タニ周延スルコトハ許サレナイ。蓋シ不周延ノ概念ヲ周延セシムルトキハ、元ノ判斷ノ含蓄セル意義以外ニ互リテ主張スル所ガアル様ニナルカラデアル。換位ニ三種類ヲ區別スル。單純換位 Simple conversion (量ヲ變ビザル場合) 限量換位 Conversion by limitation (量ヲ限小スル場合) 及ビ換質換位 Conversion by contraposition (換質シタモノヲ換位スル場合) デアル。此等ノ各々ハ A E I O ノ四種ノ判斷ノ孰レニモ適用スルコトノデキルモノデハナイ。判斷ニヨツテ夫々適當ナモノガ存スルノデアル。以下各々ノ判斷ニ就テ換位ノ方法ヲ考察スル。

(全稱肯定判斷)。此ノ判斷ノ賓概念ハ不周延デアルカラ換位シタ場合ニ之ヲ周延シテ全稱判斷トスルコトハデキヌ。從ツテ判斷ノ量ハ全稱カラ特稱ニ移ラネバナラヌ。「凡テノ人ハ動物デアル」ト云フ判斷ガ正當デアルトスルモ、「凡テノ動物ハ人デアル」ト云フコトハデキヌ。「或ル動物ハ人デアル」ト特稱判斷ニ改メネバナラヌ。但シ A ノ特別ナ場合、即チ主概念ト賓概念トノ範圍ガ全然一致セル同一關係ヲ現ハセルモノハ (A₁ オイラノ圖式參照) 換位シテ全稱判斷ト爲スコ

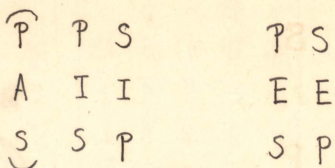
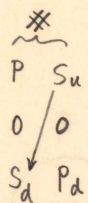


トヲ得ル。例ヘバ「東京ハ東洋第一ノ大會ナリ」ハ「東洋第一ノ大會ハ東京ナリ」ト改ムルコトガデキル。此ノ如キハ單純換位デアル。故ニ A ノ判斷ハ一般的ニハ限量換位ヲ行フ可キデアル。

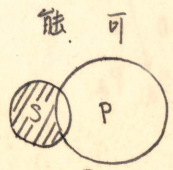
E 全稱否定判斷ハ主位モ賓位モ共ニ周延サレテ居ル。故ニ單純換位ヲ施シテ差支ナイ。

I 特稱肯定判斷ハ單純換位ヲ施スコトヲ得ル。例ヘバ「或ル瓦斯體ハ空氣ヨリモ輕シ」ハ「或ル空氣ヨリモ輕キモノハ瓦斯體ナリ」ト改ムルコトヲ得ル。此ノ場合ニ於テハ原ノ判斷ノ主位モ賓位モ不周延デアツテ、換位シタ判斷ノ主位モ賓位モ亦不周延デアル。勿論 I ノ判斷ニハ前述ノ通り、實質上ニ於テハ種々ノ場合ガアルカラ、時トシテハ却ツテ判斷ノ量ヲ増加シテ全稱判斷ト爲シ得ル場合モアル。例ヘバ「或ル人ハ狂人ナリ」ヲ變形シテ「狂人ハ凡テ人ナリ」ト爲シ得ルガ如キデアル。

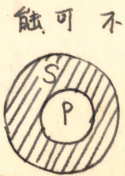
O 特稱否定ノ判斷ハ之ヲ其ノ儘換位スルコトハ不可能デアル。何トナレバ「若干ノ S ハ P ニアラズ」ヲ變形シテ「若干ノ P ハ S ニアラズ」トスルトキハ、周延ヲ有タナイ S ヲ周延スルコトニナツテ、元ノ判斷ノ主張以外ニ互ルコトニナル



カラデアル。



S O P
P O S



S O P
P O S

勿論右ノ場合ニ於テモ、判断ノ實質ヲ参照スレバ、换位シテモ誤ニ陥ラナイコトガアリ得ルコトハ特ニ注意セバナラヌ。例ヘバ「或ル學者ハ老人ニアラズ」ヲ變形シテ「或ル老人ハ學者ニアラズ」トナシ、或ル藥ハ苦キモノニアズ」ヲ變形シテ「或ル苦キモノハ藥ニアラズ」ト爲スガ如キハ、前章ニ於テOノ第一ノ場合トシテ舉ゲタモノニ换位ヲ應用シタモノデアツテ、毫モ差支ハ無イ。然ルニOノ第二ノ場合トシテ舉ゲタ「或ハ人ハ盲人ニアラズ」ノ如キ判断ハ、若シ之ヲ變ジテ「或ル盲人ハ人ニアラズ」ト爲サバ笑フベキ誤謬ニ陥ルコトトナル。要スルニ、賓位ガ主位ノ種概念デア場合ニハ换位ヲ應用スルコトガ不可能ナノデアアル。故ニ形式上カラハOニハ其ノ儘テ换位ヲ施スコトハテギヌトスル。

(三) 換質換位法。

コレハ换位ノ一種ト見ラレル。即チ一度換質シタモノヲ换位スル法デアアル。コノ換質換位ノ可能ヲAEIOニ就イテ見ルニ、Iハ換質スレバOトナルヲ以テ不可能デアアルガ、他ハ何レモ可能デアアル。例セバ次ノ如シ。

A		原命題	總テ君子ハ自重ス。	S A P
A		換質換位	自重セザルモノハ君子ニ非ズ。	P E S
E		原命題	黄金ハ鍍ビヌ。	S E P
E		換質換位	或ル鍍ビヌモノハ黄金デアアル。	P I S

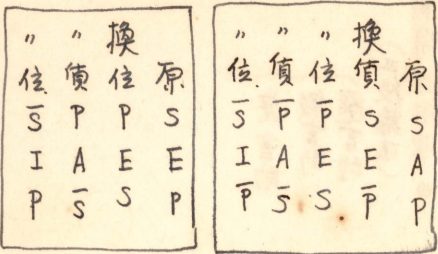
O 原命題

若干ノ植物ハ無感覺デハナイ。

S O P
P I S

(四) 戻換法 Inversion.

前述ノ換質換位ハ一ノ判断ヨリ、其ノ賓概念ノ矛盾概念ヲ以テ其ノ主概念ト爲セル新判断ヲ導キ出スモノデアアルガ、戻換法ハ一ノ判断ヨリ、其ノ主概念ノ矛盾概念ヲ以テ其ノ主概念ト爲セル判断ヲ導キ出スモノデアアル。例ヘバ、Aノ「凡テノSハPナリ」ヲ變形シテ「或ル非SハPニアラズ」トシ、Eノ「凡テノSハPニアラズ」ヲ變形シテ「或ル非SハPナリ」トスルガ如シ。此ノ戻換法ハ前ニ舉ゲタル换位及ビ換質換位ノ方法ヲ反復スルコトニヨリテ作ラルルモノト見ルコトヲ得ル。例ヘバ「凡テノSハPナリ」ニ換質換位ヲ施ストキハ「凡テノ非PハSニアラズ」トナリ、更ラニ之ニ換質換位ヲ加フレバ、「若干ノ非Sハ非Pナリ」、之ヲ換質スレバ「若干ノ非SハPニアラズ」トナル。IトOトハカカル方法ニヨリテハ到底戻換法ト同一ノ結果ヲ後ルコトハデキナイ。即チソノ途中ニ於テO命題ノ换位ニ出會フカラデアアル。勿論コレハ形式上ヨリ見テ不可能デアアルコトヲ注意シテ置ク。



第六章 間接推理

一 間接推理ノ種類

二個以上ノ既知ノ判断ガ基礎トナリ、其ノ關係カラ一個ノ新判断ヲ導キ出スノガ間接推理デアルコトハ前章既ニ之ヲ説明シタ。而シテ其ノ推理ノ基礎トナル既知ノ判断ハ之ヲ前提ト稱シ、導キ出サレル新判断ハ之ヲ結論又ハ斷案ト稱スルトモ既ニ之ヲ述ベタ。

カカル間接推理ノ中ニモ種々ナ種類ガアル。先ヅ推理ノ前提ト結論トノ關係ガ全體ト部分トノ關係ニナツテ居テ、普遍的法則又ハ原理カラ特殊ノ事實ヲ論證スルモノト、前提ト結論トノ關係ガ反對ニ、部分ト全體トノ關係ニナツテ居テ、特殊ノ事實ヲ根據トシテ普遍的ノ法則又ハ原理ヲ導キ出スモノトガアル。前者ハ所謂演繹的推理 Deductive inference デアリ、後者ハ所謂歸納的推理 Inductive inference デアル。尙ホ一ツ兩者ノ中間ニ立ツガ如キ性質ヲ有スルモノデ、其ノ前提ト結論トノ關係ハ部分ト部分トノ關係ニナツテ居テ、或ル特殊ノ事實カラ他ノ

定言的

假言的

選言的

(三段論法)

演繹的推理。

歸納的推理。

類推ニヨル推理

特殊ノ事實ヲ導キ出スモノガアル。之ハ云ハバ、不完全ノ歸納的推理トモ稱スベキモノデアツテ、其ノ斷案ハ蓋然の性質ノモノデアアル。之ヲ類推ニヨル推理 Inference by analogy (比論推理又ハ類比推理 Analogical inference トモ云フ)ト稱スル。演繹的推理ノ中ニハ其ノ前提トナレル判断ガ定言的ナルカ、假言的ナルカ、選言的ナルカニヨツテ更ラニ定言的・假言的及ビ選言的推理ノ區別ガ生ズル。演繹的推理ハ其ノ形式ニ於テハ、二個ノ前提トナレル判断ト一個ノ結論トナレル判断トカラ組織サレルカラ、又之ヲ三段論法 Syllogism ト稱スル。今此等ノ種々ナ推理ニ就テ以下順次ニ之ヲ説明スル。

一 定言的三段論法

一 其ノ形式

『ソークラテース』ダツテ死ヌサ、人間ダモノ。』ト云フガ如キ言葉ノ中ニモ之ヲ些細ニ考察スレバ、一ツノ推理ガ行ハレテ居ル。而シテ斯ノ如キ推理ヲ形式論理學ハ次ノ如キ形式ニ改メル。

スベテノ人ハ死ヌ。(死ヌモノデアアル)

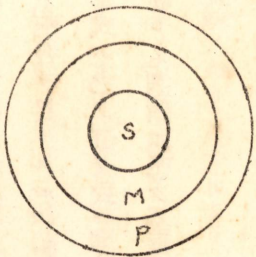
「ソークラテース」モ人デアル。
故ニ「ソークラテース」モ死ヌ。
(死ヌモノデアル)

媒辭
(中名辭)
大名辭
大前提
小前提
小名辭

而シテ斯ノ如キ推論ハ形式上三段ニ進ムカラ三段論法 Syllogism ト名付ケラレ、三ツノ命題ノ中デ最後ノ命題ヲ結論 Conclusion ト云ヒ、ソノ結論ヲ導キ出スタメノ前ノ二ツノ命題ヲ前提 Premise ト云フ。今上ノ三ツノ命題ニ含マレテ居ル命題ヲ見ルト、「人」、「死ヌ(死ヌモノ)」「ソークラテース」ノ三ツガアル。ソノ中デ前提ニ二回操リ返シテ用ヒラレタ名辭(即チ人)ヲ媒辭(或ハ中名辭) Middle term (M) ト稱ス。蓋シ媒辭「人」ハ「ソークラテース」ト「死ヌモノ」ヲ結びツケテ結論ニ送り出す役目ヲナスカラデアル。而シテソノ結び付ケラレタ二ツノ名辭ノ中デ「死ヌモノ」ヲ大名辭 Major term (P) ト稱シ、「ソークラテース」ヲ小名辭 Minor term (S) ト稱ス。ナホ大名辭ヲフクム前提ヲ大前提ト云ヒ、小名辭ヲフクム前提ヲ小前提ト云フ。而シテ形式論理學デハ右ノ三段論法ヲ次ノ如キ形式デ表ハス。

M A P . スベテノ人ハ死ヌ。
S A M . 「ソークラテース」モ人デアル。

S A P . 故ニ「ソークラテース」モ死ヌ。



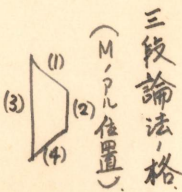
右ノ形式ハ最モ模範的ナモノデアツテ、ソノ外ニ大前提、小前提、結論ノ順序ガ變更サレタリ、S・M・Pノ位置ガ異ナル場合ガアルワケデアアルガ之ハ後ニ述ベルコトニスル。勿論上述ノ形式ハ形式トシテトトノヘラレタモノデアアルガ、實際ニハ種々ノ省畧法ガ用ヒラレルノデアツテ、「ソークラテース」ダツテ死ヌサ、人間ダモノ。』ト云フガ如キモソレデアアル。

日常ノ議論ハ大抵此ノ畧式ノモノデアアル。
前例ノ三段論法ニ就テ媒概念ノ位置ヲ檢スルニ、大前提ニ於テハ其ノ主位デアリ。小前提ニ於テハ其ノ賓位デアアル。今從來ノ慣習ニ從ツテ、大概概念ヲPトシ、

(I) M—P
S—M
S—P

小概念ヲSトシ、媒概念ヲMトスルトキハ、前例ノ三段論法ハ上ノ如キ形式ヲ以テ之ヲ現ハスコトガデキル。

此ノ圖式ニ於テ横線上ニ在ルハ大小兩前提デ、其ノ以下ニ在ルハ結論デアアル。然ルニ媒辭ノ位置ハ常ニ此ノ如ク一定シテ居ルノデハ無イ。尙



三段論法ノ格

(MノPル位置)

ホ此ノ外ニ次ノ如ク三様ノ位置ガ可能デアアル。

$$(II) \frac{P-M}{S-M} \frac{S-P}{S-P}$$

$$(III) \frac{M-P}{M-S} \frac{M-S}{S-P}$$

$$(IV) \frac{P-M}{M-S} \frac{M-S}{S-P}$$

此ノ如ク媒概念ノ位置ノ異ナルニヨツテ生ズル三段論法ノ形式ヲ三段論法ノ格 Figure

ト云フ。而シテ(I)ノ形式ハ之ヲ第一格、(II)ヲ第二格、(III)ヲ第三格、(IV)ヲ第四格ノ三段論法ト稱スル。

三段論法ノ格ハ單ニ媒概念ノ位置カラ生ズル形式デアアルガ、此等ノ三段論法ヲ組織スル判斷ノ種類ハ A E I O ノ中、孰レカ、其ノ三個ヲ取ルコトニヨリテ夫々其ノ配合ヲ異ニスル。此ノ如クニシテ、判斷ノ質ト量トノ上ヨリ見タル三段論法ノ形式ハ之ヲ其ノ式 Mood ト稱スル。例ヘバ、前掲ノ例ノ如キハ前提及ビ結論ノ孰レノ判斷モ悉ク全稱肯定ノ判斷カラ成立シテ居ルカラ、之ヲ AAA ノ式ト稱スル。

三段論法ノ正否ニ論ナク、單ニ形式上可能ナ式ハ A E I O ノ四種ノ判斷中、任意ニ其ノ三個宛ヲ選擇シ、任意ノ順序ニ之ヲ配列シテ出來ルノデアアルカラ、總計六十四種ノ式ガ出來ル筈デアアル。而シテ此等ノ式ガ第一格ヨリ第四格ニ至ル四種

三段論法ノ式

三段論法ノ原理

ノ格ニ夫々適用セララルルヲ以テ、形式上可能ナ三段論法ハ實ニ $4 \times 4 = 16$ ノ多數ニ達スル理デアアル。然シ此等ノ三段論法ノ中ニハ勿論種々ナ點ヨリ見テ成立セザルモノガ少ナカラズ存在スル。如何ナル種類ノ三段論法ガ真正ニシテ、如何ナル種類ノモノガ不正デアアルカ、之ヲ講究スルニハ先ヅ三段論法ノ依リテ立ツ原理ト、其ノ組織ニ關スル規則トヲ檢セネバナラス。

二 其ノ原理及ビ規則

三段論法ノ依ツテ成立スル根本的ノ原理ハ彼ノ思考ノ原理デアアル。此ノ思考ノ原理、殊ニ其ノ同一律及ビ矛盾律ヲ基礎トシテ考フルトキハ吾人ハ所謂三段論法ノ公理トシテ次ノ三種ノ原則ヲ設クルコトヲ得ル。

第一。甲乙ノ二概念ガ共ニ同一ナ媒概念丙ニ一致スル時ハ、甲乙兩概念ハ同一ノ原理ニヨリ、其ノ丙概念ニ一致スル點ニ於テ相互ヒニ一致スル。

第二。甲乙兩概念ノ中、一方ハ同一ナ媒概念、丙ニ一致シ、他方ハ一致シナイ時ニハ矛盾ノ原理ニヨリテ、甲乙兩概念ハ其ノ一致シナイ點ニ於テ相互ヒニ一致シナイ。

第三。甲乙兩概念ガ共ニ同一ナ媒概念、丙ニ一致シナイ時ハ、甲ト乙トハ相互



定言的三段論法規則

第一

概念數：三個
概念意義同一

ヒニ一致スルコトガアリ、又一致シナイコトモアツテ、一定シナイ。
然ルニ、判斷ニ於ケル主賓兩概念ノ關係ハ完全ナ一致又ハ不一致ヲ現ハス場合モアレバ、或ハ單ニ一部分の一致ニ止マル場合モアル。更ラニ詳シク言ヘバ、主概念ノ全部ガ賓概念ノ全部ト一致シ、又ハ一致シナイコトガアリ、或ハ主概念ノ一部又ハ全部ト賓概念ノ一部トガ一致シ、又ハ主概念ノ一部ト賓概念ノ全部トガ一致スル場合ガアル。此ノ關係ハ定言的判斷ニ於テハ、一面ニ、主位ト賓位トガ同一ノ關係ヲ示スカ、又上位及ビ下位ノ關係ヲ示スカノ差異トナリ（第四章第二節判斷ノ種類參照）、他面ニ於テハ、主賓兩概念ノ周延・不周延ノ差異トナツテ居ル。故ニ前述ノ公理ノ外ニ尙ホ此ノ如キ關係ガ參照サレネバナラス。而シテ其ノ結果、定言的三段論法ノ規則トシテ次ノ如キモノヲ承認スルコトニナル。

第一。定言的三段論法ニ於テハ、**概念ノ數ハ三個ニ限ル**。而シテ**概念ノ意義ハ常ニ同一ナルヲ要スル**。

三段論法ハ、前述セル如ク、大小兩概念ヲ媒概念ニヨリテ連結スルガ如キモノデアルカラ、概念ノ數ハ三個ニ限ラレル。概念ノ數ガ四個以上トナリ、判斷ノ數モ亦四個以上トナレバ到底斷案ヲ得ルコトハデキヌ。實際ノ推理ニ於テ、概念ノ

四個概念ノ虛偽
媒概念曖昧虛偽

第二

媒概念周延

媒概念不周延虛偽

數ガ形式上カラ見テ四個以上トナルコトハ甚ダ稀デアアルガ、概念ノ意義ガ曖昧多義デアアルタメニ形式ハ三個デアツテモ、其ノ實四個トナレル場合ハ少クナイ。其ノ結果トシテ推理ノ誤謬ヲ生ズル時ハ之ヲ**四個概念ノ虛偽** Fallacy of four terms ト云フ。此ノ場合ノ最モ普通ナノハ媒概念ノ意義ガ曖昧ナ場合デアアル。例ヘバ「夢ハ精神現象ナリ」「人生ハ夢ナリ」ト云フ前提カラハ何等ノ結論ヲモ得ルコトハ出來ヌ。「夢」ノ意味ガ兩前提ニ於テ同一デナイカラデアアル。此ノ如キ場合ノ誤謬ヲ媒概念曖昧ノ虛偽 Fallacy of ambiguous middle ト稱スル。

第二。媒概念ハ前提ニ於テ少クトモ一度ハ周延サレネバナラス。

媒概念ハ大小兩概念ノ關係ヲ媒介スルモノデアアルカラ、少クモ一度ハ其ノ全體ノ範圍ニ互リテノ主張アルコトヲ要スル。然ラズシテ單ニ其ノ一部分ノミニ就テノ主張デアルトキニハ、大前提ニ於ケル媒概念ノ指示セル部分ト、小前提ニ於ケル媒概念ノ指示セル部分トハ一致シナイコトガ起ツテ、媒概念ガ媒概念トシテノ用ヲ爲サスコトニナル。コノ規則ニ反スル虛偽ヲ媒概念不周延ノ虛偽 Fallacy of undistributed middle ト云フ。

第三。前提ニ於テ周延サレナイ概念ヲ結論ニ於テ周延スルコトハデキヌ。

第三〇〇

不周延↓周延不能

大概念不當周延 虛偽
小概念不當周延 虛偽

此ノ規則ノ理由ハ明白デアアル。斷案ハ前提ニヨリテ導キ出サルルモノデアアルカ
ラ、前提ニ於テ全範圍ニ互リテ主張サレテ居ナイ概念ヲ結論ニ於テ其ノ全部ニ互
リテ用フルコトハデキヌ。今コノ規則ニ反スル時ハ次ノ二種ノ虛偽ニ陥ル。即チ

大概念不當周延ノ虛偽 Fallacy of illicit major.
凡テノ學者ハ研究心ヲ有ス。彼ハ學者ニ非ズ。
故ニ彼ハ研究心ヲ有セズ。

小概念不當周延ノ虛偽 Fallacy of illicit minor.

藝術家ハ孰レモ頗ル鋭敏ナ感覺ヲ有ツテ居ル。

感覺ノ頗ル鋭敏ナモノハ人並外レタ人間デアアル。

故ニ、凡テ人並外レタ人間ハ藝術家デアアル。

第四〇〇。二個ノ前提ガ共ニ否定ナルトキハ結論ヲ得ルコトハデキヌ。

之ハ前掲ノ公理第三カラ出ズルモノデ、特別ノ説明ヲ要シナイ。此ノ規則ニ違
反スル時ハ次ノ虚偽ニ陥ル。

否定前提ノ虚偽

結論ヲ得ル

否定前提ノ虚偽 Fallacy of negative premises.

但シ前提ガ果シテ否定デアアルカ否カハ、三段論法ノ形式ヲ充分整理シタ上デナ

ケレバ云ヘスコトデアツテ、單ニ否定ノ言葉ガアルカラト云ツテ直チニ之ヲ否定
判斷トシテ誤謬ト見做スコトハデキヌ。例ヘバ、次ノ例ヲ見ヨ。

正直デナイ人ハ信用スベキ人間デナイ。

彼ハ正直デナイ。

故ニ、彼ハ信用スルコトハデキヌ。

斯様ナ推論ハ日常吾人ノ屢々用フル所デアツテ、決シ誤デナイ。然ルニ前提ハ一
見シタ所、二ツナガラ、否定ノ様デアアルガ、其ノ實サウデナイ。此ノ三段論法ノ
媒概念ハ大前提ニ於テ「正直デナイ人」デアアルカラ、小前提ハ「彼ハ正直デナイ人
デアアル」ノ意デ、肯定的判斷デアアル。故ニ前提ハ二ツトモ否定デアアルト見ルノハ
誤デアアル。

第五〇〇。兩前提共ニ肯定的ナトキハ結論モ肯定的デアアル。前提ノ一ツガ否定的ナ
時ニハ結論モ亦否定的デアアル。

此ノ規則ハ矢張り三段論法ノ公理カラ出テ來ルモノデ別ニ説明ヲ要シナイ。

定言的三段論法ニ關スル規則ハ之ダケデ充分デアアル。此ノ中デモ最モ必要ナモ

第六〇〇。第二及ビ第三デアアル。シカルニ尙ホ便宜上カラ、以上ノ規則ヲ基礎トシテ普

第五〇〇

肯肯
肯肯
肯肯

肯肯
肯肯
肯肯

特稱
特稱

↓結論ヲ傳ス

通次ノ如キ二個ノ附則ヲ設クル。

第六。兩ツナガラ特稱ナ前提カラハ何等ノ結論ヲモ得ルコトハデキヌ。

此ノ規則ハ以上ノ規則ニヨリテ容易ニ説明スルコトガデキル。兩前提共ニ特稱ナ場合ニ判斷ノ質ヲ考ヘテ見レバ次ノ如キ三個ノ場合ガアル筈デアアル。

- 一。兩前提ガ共ニ肯定ノ場合。(I·I)
- 二。兩前提共ニ否定ノ場合。(O·O)
- 三。兩前提ノ中一ガ肯定デ、他ハ否定ノ場合。(I·O)(O·I)

第一ノ場合ニハ兩前提ノ中一ツモ周延サレタ概念ハナイ。從ツテ媒概念ガ一タビモ周延サレナイタメニ、此ノ三段論法ハ不成立ナル。第二ノ場合ハ前條ノ規則第四ニヨリ不成立。第三ノ場合ニハ周延サレタ概念ハ否定判斷ノ賓概念一個ノミデアアル。故ニ之ヲ媒概念トセザルヲ得ナイ。然ルニ前提ノ一個ハ假定ニヨリテ否定的デアアルカラ、其ノ結論モ亦前ノ規則ニヨリテ否定的トナル。從ツテ結論ノ賓概念即チ大概念ハ周延サレルコトニナリ、從ツテ又前提ニ於テ周延サレテ居ナイ概念ヲ結論ニ於テ周延サセルト云フ不當周延ノ虚偽ニ陥ルコトトナル。故ニ前提ガ特稱ナトキニハ、孰レノ場合ニ於テモ三段論法ハ成立シナイコトトナル。

特稱
特稱

↓特稱

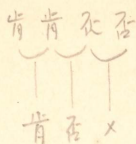
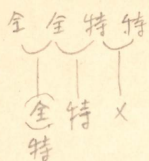
第七。前提ノ一ガ特稱ナトキハ結論モ亦特稱タラザルヲ得ナイ。

此ノ規則モ前ト同ジク、判斷ノ質ヲ考ヘタ上デ三個ノ場合ヲ假定シ、其ノ各々ノ場合ニ於テ結論ノ性質ヲ檢スレバ容易ニ證明スルコトガデキル。其ノ三ツノ場合ノ中デ、兩前提共ニ否定ノ場合(E·O)(O·E)ハ結論ノ如何ニ係ラズ、成立シナイノデアアルカラ之ヲ取除キ、

- 一。兩前提共ノ肯定ノ場合。(A·I)(I·A)
- 二。兩前提ノ中一ツガ肯定デ、他ガ否定ノ場合。(A·O)(O·A)(E·I)(I·E)

ヲ檢スル。第一ノ場合ニ於テハ周延サレ得ベキ概念ハ特稱デナイ前提ノ主概念ニ限ラレテ居ル。其ノ他ニハ一ツモナイ。從ツテ此ノ概念ガ媒概念トナラネバナラヌ。故ニ若シ此ノ場合ニ結論ヲ全稱トスレバ、吾々ハ前提ニ於テ周延サレナイ概念ヲ周延スル結果トナル。故ニ結論ハ特稱デナケレバナラヌ。

第二ノ場合ニ於テハ、周延サレ得ベキ概念ノ數ハ多クトモ二個デアアル。即チ特稱デナイ判斷ノ主概念ト否定判斷ノ賓概念トデアアル。其ノ外ニハナイ。然ルニ前提ノ一ツハ否定ノ判斷デアアルカラ、其ノ結論ハ必ず否定トナツテ、其ノ賓概念ハ周延ヲ有スルコトニナル。故ニ若シ結論ヲ全稱トスレバ、媒概念ノ周延ヲ併セテ



總計三個ノ概念ガ前提ニ於テ豫メ周延サレテ居ネバナラヌ譯ニナル。然ルニ前提ニ於テ周延サレル概念ハ多クトモ二個デアアル。故ニ不當周延ノ虚偽ニ陥ルコトヲ避ケルタメニハ其ノ結論ヲ特稱トセネバナラヌ。

三段論法ノ公理ト主賓兩概念ノ周延ノ關係トカラ生ズル以上ノ諸規則ヲ總括シテ之ヲ考フルニ、定言的三段論法ナルモノハ畢竟、「アリストテレース」ノ所謂「總體及ビ皆無ニ關スル原理」 Dicuum de omnes et nullo。ガ其ノ根本ヲ爲シテ居ルコトヲ發見スル。即チ全部ニ就テ承認サルルコトハ其ノ一部ニ就テモ承認サルルト云フコトガ基礎ニ爲ツテ三段論法ハ成立スルノデアアル。前述ノ規則ニモ擧ゲタ

通リニ、前提ノ一ツハ必ズ全稱的デナケレバナラヌト云フコト、又一ツハ必ズ肯定的デナケレバナラヌト云フコトナドハ全ク此ノ原理カラ來テ居ルト見ラレル。以上述べタ定言的三段論法ノ規定ヲ知ツテ居レバ、之ニヨツテ吾々ハ推理ノ眞偽ヲ判斷スルニハ充分ナノデアアルガ、先キニ提ゲタ三段論法ノ格及ビ式ノ變化カラ生ズル幾多ノ形式ヲ檢シテ其ノ如何ナル式ガ夫々ノ格ニ正當ナモノトシテ成立スルカラ識別スルタメニ、從來ノ論理學者ハ夫々ノ格ニ就テ其ノ媒概念ノ位置カラ生ズル特殊ノ規則ヲ擧ゲテ居ル。之ハ實際的ニハサシタル效果ノナイモノデア

ルガ、多少思考ノ練習ニハナルカラ、今左ニ之ヲ掲ゲル。

第一格

M—P
S—M
S—P

此ノ格ニ於テハ、媒概念ハ大前提ノ主位、小前提ノ賓位ヲ占メテ居ル。此ノ結果トシテ生ズル特殊ノ規則ハ左ノ通りデアアル。

第一。大前提ハ全稱デナケレバナラヌ。

假リニ大前提ガ全稱ニアラズシテ特稱デアルト假定シテミル。然ルトキハ媒概念Mハ前提ニ於テ少クモ一度ハ周延サレナケレバナラヌカラ、小前提ニ否定トナラザルヲ得ナイ。前提ノ一ツガ否定ナレバ結論ハ否定トナルノ規則ニヨツテ、結論ハ否定トナリ、其ノ賓概念Pハ周延サレルコトニナル。然ルニ、Pガ結論ニ於テ周延サレルタメニハ、豫メ前提ニ於テ周延サレルコトヲ要スルカラ、大前提ハ否定トナラザルヲ得ナイ。從ツテ前提ハ兩ツナガラ否定トナツテ、此ノ三段論法ハ成立シナイコトニナル。故ニ大前提ハ全稱デナケレバナラヌ。

第二。小前提ハ肯定デナケレバナラヌ。

假リニ小前提ガ否定デアルトスル。然ルトキハ結論モ亦否定トナリ、Pハ周

第一格

大前提 …… 全称
小前提 …… 肯定

A I E O I O
A A A I I
(A A E A I I
(E E A I I
E

延ヲ有ツコトニナル。從ツテPハ豫メ前提ニ於テ周延サレルコトヲ要スル所カラ、大前提ガ否定トナラネバナラス。其ノ結果ハ大小兩前提共ニ否定トナツテ、三段論法ハ成立シナイコトニナル。故ニ小前提ハ肯定的デナケレバナラス。

以上第一格ノ特殊ナ規則ヲ應用シテ果シテ孰レノ式ガ此ノ格ニ適用サレルベキデアルカラ檢スル。之ヲ檢スル前ニ先ヅ前提ノ三段論法ノ規則ニヨリ、孰レノ格ニモ適用スルコトノデキナイ前提ヲ除去シテ置クコトガ便宜デアル。凡テ前提トシテ可能ナ形式ハ次ノ十六個デアル。

此ノ中兩前提トモ否定ノモノ (E O E O) 及ビ兩前提トモ特稱ノモノ (O O O O) ハ孰レノ格ニ屬スルニ係ラズ、前提トシテ成立セザルモノ (I O I O) ノ格ニ屬スルニ係ラズ、前提トシテ成立セザルモノ (I I I I) ノ格ニ屬スルニ係ラズ、前提トシテ成立セザルモノ (A E I O A I A E A) ノ九個ガ夫々ノ格ニ適用セラルベキモノトナル。此ノ中、前提ノ第一格ノ規則ニ合スルモノ (A A E I O) ノミヲ取レバ、(A I A I) ノ四個ガ前提トシテ成立スルモノトナル。 (A A E E) ノ四個ガ前提トシテ成立スルモノトナル。

之ニ相當ナ結論ヲ附スレバ第一格ニ適用サレル正當ナ式ハ次ノ六式デアル。

此ノ中ノ A A I 及ビ E A O ノ二式ハ正當ナ三段論法デハアルガ、全稱判斷ヲ

第二格

大前提 全稱
一個 否定

E A E
(E A O)
A E E
(A E O)
E I O
A O O

第二格

AAA (A A I)
(A A E)
(E A O)
(E A I)
A I I
E I O

結論トシテ有ツコトカデキルノニ、殊更ラニ特稱トシタモノデアツテ、實際上ニハ不用ノモノデアル。

此ノ格ニ於テハ媒概念ハ大小兩前提ニ於テ共ニ其ノ賓位ニ在ル。其ノ結果トシテ此ノ格ニ特有ナ規則トシテ次ノ如キモノヲ得ル。

第一。前提ノ一ツハ否定デナケレバナラス。

第二。大前提ハ全稱デナケレバナラス。

此ノ規則ノ理由ハ別ニ説明ヲ要スル迄モナイ。三段論法ノ規則ニ照ラシテ考フ

レバ容易ニ理解サレルコトデアルカラ、生徒ノ工夫ニ任カシテ省略スル。此ノ規則ニヨリテ此ノ格ノ正當ナ式ヲ舉グレバ、上ノ六式デアル。

此ノ中デ括弧ヲ附セルモノハ實際上不用ノ式デアル。

第三格

M—P
M—S
S—P

此ノ格ニ於テハ媒概念ノ位置ハ大小兩前提ニ於テ共ニ其ノ主位ヲ占メテ居ル。其ノ結果トシテ次ノ如キ特殊ナ規則ガ生ズル。

第三格

小前提...肯定
結論...特殊

AAI
IAI
EAO
OAO
EIO

第四格

AAI
IAI
AEO
OAO
EIO

第一。小前提ハ必ず肯定デナケレバナラス。

第二。結論ハ特稱デナケレバナラス。

此ノ規則ニ照ラシテ此ノ格ニ適用シ得ベキ式ハ次ノ六式デアアル。

M-S
P-M
S-P

此ノ格ニ於テハ媒概念ハ大前提ノ賓位、小前提ノ主位ヲ占ムル。其ノ結果左ノ如キ規則ヲ得ル。

第一。兩前提ノ中、其ノ一ツガ否定ナトキハ大前提ハ全稱デナケレバナラス。

第二。大前提肯定ナラバ小前提ハ全稱デナケレバナラス。

第三。小前提若シ肯定ナラバ結論ハ特稱デナケレバナラス。

以上ノ規則ニ照ラシテ此ノ格ノ正當ナ式ハ左ノ五式デアアル。

AAI
AEE
(AEO)
IAI
EAO
EIO

以上第一格ヨリ第四格ニ至ル諸格ノ正當ナ式ヲ比較シテミルニ、AEIOノ孰

結論

第一格 A E I O

第二格 E O

第三格 I O

第四格 E I O

完全格...第一格
不完全格...其他

レノ結論ヲモ下シ得ルハ第一格ニ限ラレテ居ル。其ノ他ノ格ニ於テハ其ノ一若クハ其ノ二ヲ缺イテ居ル。即チ第二格ノ結論ハ否定ニ限ラレ、第三格ノ結論ハ特稱ニ限ラレ、第四格ニハ全稱肯定ノモノガ缺ケテ居ル。此ノ全稱肯定ノ結論ハ第一格ニ限ラレテ居ルモノデ、其ノ他ノ格ニハナイ。斯様ナ點カラ四格ノ中デハ第一格ガ最重要ナモノト考ヘラレ、且ツ三段論法ノ模範的形式ト見做サレルノデアアル。蓋シ第一格ノ形式ハ前提ト結論トノ關係ガ最も明瞭デ且ツ自然的デアアルカラ。故ニ古來第一格ヲ完全ナ格 Perfect figure ト稱シ、其ノ他ノ格ハ不完全ナ格 Imperfect figure ト呼ンデ居ル。

「ケインズ」 Keynes ハ第一格ノスベテノ論式ヲ總合シテ左ノ形式ヲ以テ現ハシテ居ル。

規則 凡テノMハPナリ。(Pナラス)

場合 凡テノ(或ル)SハMナリ。

結果 凡テノ(或ル)SハPナリ。(Pナラス)

右ノ形式ニ付テ「カント」ハ次ノ如ク考ヘタ。「大前提ハMト云フ條件トP又ハPト云フ客語トヲ結び付ル規則デアアル。小前提ハコノ條件ヲミタス對象ノ包攝デアアル。即チコノ一格ハ、一ツノ規則ノ條件ヲ満足スルモノハ其ノ規則ノモノトニ包攝セラレルト云フ事ヲ示シテ居ル。」

三段論法ノ眞偽ヲ檢スル場合ニ便宜ノタメ、第一格以外ノ三段論法ヲ第一格ニ

變格法

第一格ニ變形スルコト

變形スルコトガアル。之ヲ變格法 Reduction ト稱スル。變格法ニ就テハ中世ノ哲學者ハ綿密ナ研究ヲ爲シ、容易ニ三段論法ノ正確ナ形式ヲ記憶シ、且ツ機械的ニ變格ヲ爲シ得ルタメ、羅旬語ヲ用ヒテ短詩ヲ考案シテ居ル。然シ之ハ徒ラニ煩瑣ヲ招クノミデ吾々ハ殆ド何等ノ功用ヲモ認メルコトハデキヌ。變格ハ各格ノ組織ト前述ノ直接推理ノ方法トヲ知ツテ居レバ容易ニデキル事デアツテ、特別ニ機械的工夫ヲスル必要ハ無イ。故ニ變格法ノコトハ一切之ヲ省略スル。

變格法ノ如何ナルモノデアルカチ示スタメ、左ニ一二ノ例ヲ舉ゲル。

凡テノPハMナリ。

凡テノSハMニアラズ。

故ニ、凡テノSハPニアラズ。

之ハ第二格ニ屬スルモノデアルガ、之ヲ第一格ノ形式ニ改ムルニハ、次ノ如クスル。

凡テノMハSニアラズ。 (小前提ヲ換位シタモノ)

凡テノPハMナリ。

故ニ、凡テノPハSニアラズ。

或ハ又、

凡テノ非MハPニアラズ。 (大前提ヲ換置換位シタモノ)

凡テノSハ非Mナリ。 (小前提ヲ換置換位シタモノ)

故ニ、凡ノSハPニアラズ。

トシテモヨイ。

凡テノMハPナリ。

凡テノMハSナリ。

故ニ若干ノSハPナリ。

之ハ第三格ノ形式デアアルガ、之ヲ第一格ニ改造スルニハ次ノ如クスレバヨイ。

凡テノMハPナリ。

若干ノSハMナリ。 (小前提ニ限量換位ヲ施セルモノ)

故ニ、若干ノSハPナリ。

第一格

事物ノ普遍的性質ヲ闡明スルニ適ス。

差別格(第一格)

事物ノ差異辨別ニ適ス。

排斥格

第一格

各々ノ格ハ之ヲ實際ニ應用スルニ當リテ多少夫々ノ特色ヲ有ツテ居ル。例ヘバ

第一格ハ最モ自然的ノ形式デ、肯定的及ビ否定的ノ全稱判斷ヲ結論トシテ有ツコトガデキルモノデアアルカラ、事物ノ普遍的性質ヲ闡明スルニ適シテ居ル。第二格ノ結論ハ否定ノミデアツテ、事物ノ差異ヲ辨別スルニ適當シテ居ル。コノ意味デ

差別格 Discriminating トモ云フ。例ヘバ

凡テ鐵ハ長ク空氣中ニ放置スルトキハ錆ヲ生ズ。

此ノ金屬ハ長ク空氣中ニ放置スルモ錆ヲ生ゼズ。

故ニ、此ノ金屬ハ鐵ニアラズ。

ノ如キハ、第二格デアツテ、鏗ヲ生ズルコトノ有無ニヨツテ鐵デアアルヤ否ヤヲ鑑別シタモノデアアル。又ソノ排質性カラ排斥格 Exclusive トモ名付ク。

「ケインズ」ハ左ノ形式ヲ現ハシテ居ル。

規則 凡テノPハMナリ。(Mニアラズ)

結果ノ排斥 或ル(凡テノ)SハMナラズ。(Mナリ)

場合ノ排斥 故ニ或ル(凡テノ)SハPナラズ。

或ル對象ガ規則ノ結果ニ適合シナイ事カラ「其ノ對象ハ規則ノ條件ヲ滿タス事ガ出來ナイモノト

シテ之ヲ排斥スルノデアアル。(カント)

第三格ノ結論ハ特稱ノミデアツテ、除外例ノ場合ヲ發見スルニ適シテ居ル。例

ヘバ、

水ガ氷トナル場合ニハ其ノ容積増加ス。

水ガ氷トナル場合ハ物體ガ其ノ熱ヲ失フ場合ナリ。

故ニ、物體ハ其ノ熱ヲ失フ場合ハ其ノ容積増加スルコトアリ。

之ハ物體ノ冷却スル時ニハ其ノ容積が縮小スルノガ普通デアアルガ、水ガ氷トナ

ルトキハ其ノ例外デアルト見ルコトニナル。コノ意味カラ例外格 Exception figure

トモ名付ケル。故ニ此ノ格ハ普遍的立言ヲ論破スル論式トシテハ適當ナモノデア

例外格(第三格) 歸納格

ル。又コノ格ノ歸納性カラ歸納格 Inductive figure トモ名付ク。

「ケインズ」ハ次ノ如ク綜合シテ居ル。

結果ノ拒絶 或ル(凡テノ)MハPナラズ。(Pナリ)

場合 凡テノ(或ル)MハSナリ。

規則ノ拒絶 故ニ或ルSハPナラズ。(Pナリ)

第四格ハ甚々本自然ナ形式デアツテ、其ノ大前提ト小前提トノ順序ヲ交換スレ

バ直チニ第一格トナル。而シテ第四格ニ於テハ結論ハ概ネ特稱デアアルガ、之ヲ第

一格ノ形式ニ改造スルトキハ特稱ノ結論モ之ヲ全稱トナスコトガデキル。

第四格

第一格

凡テノPハMナリ。

凡テノMハSナリ。

凡テノMハSナリ。

凡テノPハMナリ。

故ニ、若干ノSハPナリ。 故ニ、凡テノPハSナリ。

カクノ如ク實際上不利ナ形式デアアルカラ此ノ格ヲ以テ不必要ナモノトスル學者

モアル。「アリストテレース」ハ此ノ格ヲ認メナカッタノデアアルガ、紀元後第二世

紀ノ頃「ガレヌス」Galenusト云ヘル人ガ始メテ此ノ論式ヲ説キ出シタノデアアル。

故ニ「ガレン」氏格 Galenian figure トモ名付ケル。

ガレン氏格

三 複雜ナ定言的三段論法及ビ不規則ナ三段論法

以上述べた定言的三段論法ハ孰レモ二個ノ前提ト一個ノ結論トカラ成レルモノデ、單純ナ三段論法ト見ルベキモノデアルガ、尙ホ別ニ數個ノ三段論法ガ相結合シテ複雜ナ三段論法トナレルモノガアル。前章三段論法ノ形式ヲ論ズル際ニ、二個ノ三段論法ガ相重ナリ合ツテ、前ノ三段論法ノ結論ガ後ニ來ル三段論法ノ前提トナレルモノヲ舉ゲタガ、此ノ如キモノモ一種ノ複雜ナ三段論法デアアル。然ルニ、其ノ相重ナリ合フ三段論法ガ單ニ二個ニ止マラズ、二個以上數多アツテ、シカモ最後ノ結論ヲ除クノ外、一々ノ三段論法ノ結論ハ省略セラレテ其ノ前提ノミヲ連ヌルトキハ、論理學者ノ所謂聯鎖式 Sorites ト稱スルモノトナル。例ヘバ、

- 凡テノ甲ハ乙ナリ。
- 凡テノ乙ハ丙ナリ。
- 凡テノ丙ハ丁ナリ。
- 凡テノ丁ハ戊ナリ。

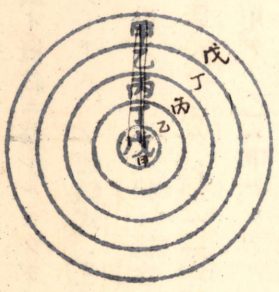
聯鎖式

故ニ、凡テノ甲ハ戊ナリ。
之ハ畢竟次ノ如クニ數個ノ三段論法ノ連續シタ推論デ、一々ノ結論ガ省略サレテ居ルノデアアル。

- 凡テノ乙ハ丙ナリ、凡テノ甲ハ乙ナリ、故ニ
- 凡テノ甲ハ丙ナリ。
- 凡テノ丙ハ丁ナリ、凡テノ甲ハ丙ナリ、故ニ
- 凡テノ甲ハ丁ナリ。
- 凡テノ丁ハ戊ナリ、凡テノ甲ハ丁ナリ、故ニ凡テノ甲ハ戊ナリ。

前ニ來レル三段論法（之ヲ前三段論法又ハ起後三段論法 Progressive sorites ト

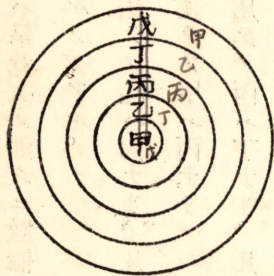
云フ）ノ結論ハ後ニ續ク三段論法（後三段論法又ハ承前三段論法 Epistologism ト云フ）ノ小前提トナツテ居ルノデアアルガ、之ハ省略サレテ居ル。之ヲ圖デ示セバ上ノ如シ。



此ノ種ノ聯鎖式ハ漸次狭イ範圍ノ概念カラ範圍

前三段論法
起後三段論法
後三段論法
前承三段論法

ノ廣イ概念ニ移レルモノデ、之ヲ順進的連鎖式 Progressive series 又ハ「アリス
トテレース」ノ連鎖式 Aristotelian series ト云フ。然ルニ連鎖式ニハ尙ホ範圍ノ
廣イ概念カラ順次狭イ概念ニ移ルモノガアル。之ヲ逆退的連鎖式又 Retrospective
series ハ「ゴクレニウス」ノ連鎖式 Goelenian series ト稱スル。例へバ、
凡テノ乙ハ甲ナリ。
凡テノ丙ハ乙ナリ。
凡テノ丁ハ丙ナリ。
凡テノ戊ハ丁ナリ。
故ニ、凡テノ戊ハ甲ナリ。



省略サレタ結論ハ順進的連鎖式ニ於テハ後三段
論法ノ小前提トナリ、此ノ逆退的連鎖式ニ於テハ
其ノ大前提ト爲ツテ共ニ第一格ノ形式ヲ取ツテ居
ルノデアアル。而シテ前述ノ如キ構造ニナツテ居
カラ、連鎖式ニ於ケル判断ハ孰レモ全稱肯定デア
ルノガ普通デアアルガ、若シ其ノ中ニ特稱判断又ハ

否定判断ヲ入レヨウトスル場合ニハ次ノ如キ規則ヲ守ラネバナラス。即チ順進的
連鎖式ニ於テハ、

第一。最始前提ヲ除クノ外ハ特稱タルコトヲ得ナイ。

何トナレバ、若シ其ノ他ノ前提ガ特稱トナルトキハ、孰レカノ三段論法ニ於
テ媒概念ハ一方ニ於テハ特稱判断ノ主概念トナリ、他方ニ於テハ肯定判断ノ
賓概念トナツテ、一度モ周延サレナイコトニナルカラデアアル。

第二。最終前提ノ外ハ否定的タルコトヲ得ナイ。

若シ他ノ前提ガ否定デアルトキハ此ノ三段論法ニ於テ大概概念不當周延ノ誤ヲ
犯スコトニナルカラデアアル。

同ジ様ナ理由ニヨリ、逆退的連鎖式ニ於テハ

第一。否定タリ得ル前提ハ最初ノモノニ限ル。

第二。特稱タリ得ル前提ハ最終ノモノニ限ル。

今連鎖式ノ如何ナルモノデアアルカヲ示スタメニ一二ノ例ヲ擧ゲル。

不幸ハ時トシテ人ノ性格ヲ改良スル傾向ヲ有ス。

人ノ性格ヲ改良スル傾向ヲ有スルモノハ幸福ヲ増進スルモノナリ。

故ニ、幸福ヲ増進スルモノハ善ナリ。

総テノ丙ハ丁ナリ
総テノ乙ハ丙ナリ
総テノ甲ハ乙ナリ
大概念「ヨリ」周延スルコト、
小概念「甲」ハ「乙」ニ
包含スルコト

故ニ、不幸ハ時トシテ善ナリ。
之ハ順進の連鎖式ニ屬スルモノデアル。漢文ニハ連鎖式ニ屬スル議論ガ少カラズアル。今韓非子
カラ一例ヲ舉ゲル。

人有福則心畏恐。心畏恐則行端直。行端直則思慮熟。思慮熟則得事理。行端直則無禍害。無禍害
則盡天年。得事理則必成功。盡天年則全而壽。必成功則富與尊。全壽富之謂福。而福本於有禍。
故曰禍兮福之所倚。以成其功也。（韓非子卷六解老第二十）

此ノ文ハ固ヨリ全體ガ連鎖體ニナツテハ居ナイ。多少ノ迂餘曲折ハアルガ、大體ニ於テハ連鎖式
ト見ルコトガテキル。生徒ハ練習ノタメ、試ミニ此ノ全篇ノ推理トシテノ構造ヲ解剖シテ見ルベシ
（則ノ字ガ用ヒラレテ假言的判斷ノ形式ニナツテ居ルガ、之ハ定言的の形式ト見做シテモ差支ハナイ）。

帶證式

二個以上ノ三段論法ガ結合シテ居ルモノデ、尙ホ帶證式 Epichirema ト稱スル
モノガアル。之ハ前提ノ一個若クハ二個共ニ、其ノ理由ガ附帶サレテ居ルモノデ
アル。例ヘバ、

迷信家ハ凡テ疑深キモノナリ、何トナレバ迷信家ハ凡テ臆病ナル人ナレバナ
リ。

教育ノアル人ノ中ニハ迷信家アリ。

故ニ、教育アル人ノ若干ハ疑深キ人ナリ。

之ハ大前提ニ其ノ理由ガ附帶シテ居ルモノデアルガ、此ノ推論ハ要スルニ二個

ノ三段論法ノ重ナツタモノデ、之ヲ完全ニ言ヒ現ハセバ次ノ如クナル。

凡テ臆病ナル人ハ疑深キモノデアル。

凡テ迷信家ハ臆病ナルモノデアル。

故ニ、迷信家ハ凡テ疑深キモノデアル。

然ルニ、教育アル人ノ中ニハ迷信家アリ。

故ニ、教育アル人ノ若干ハ疑深キ人デアル。

次ノ如キハ兩前提共ニ理由ガ附帶シテ居ルモノデ、畢竟二個ノ略式ノ三段論法

ノ結論ガ大小前提トナツテ出來タ複雑ナ三段論法デアル。

偽善家ハ衷心常ニ平靜ナルコトヲ得ナイ、何トナレバ常ニ世間ノ毀譽褒貶ヲ

氣遣フカラデアル。

彼ハ偽善家デアル、何トナレバ其ノ言行常ニ一致シナイカラデアル。

故ニ、彼ハ衷心常ニ平靜ナルコトヲ得ナイ。

次ニ不規則ナ三段論法ニ就テ一言スル。

日常吾々ノ用フル推論ノ中ニハ、以上述べタ様ナ規則正シイ三段論法ノ形式ニハ合ハナイデモ、

正當ナ推論トシテ認メザルヲ得ナイモノガ少クナイ。之ヲ不規則ナ三段論法又ハ三段論法外ノ推理
ト云フ。試ミニ其ノ例ヲ舉ゲテミレバ、

世界ノ毀譽を存せしむるは、
世間ノ手靜ヲ得ナイ
偽善家ハ世間ノ毀譽を存せし
むるに在リ。
偽善家ハ衷心常ニ平靜ヲ得ナイ
言行一致シテ、偽善家ハ
彼ハ言行一致シテ、
彼ハ偽善家デアル。

名古屋ハ京都ノ東ニ在リ。

東京ハ名古屋ノ東ニ在リ。

故ニ、東京ハ京都ノ東ニ在リ。

此ノ三段論法ニ於テハ媒概念ハ大小兩前提ニ於テ一致シテ居ナイ。從ツテ此ノ三段論法ニハ「名古屋」「京都ノ東ニ在ルモノ」「東京」「名古屋ノ東ニ在ルモノ」ノ四概念ヲ含メテ居ル。シカモ明確ニ正當ナ推論タルコトヲ失ハナイ。次ノ如キ例モ同様デアアル。

英國ハ伊太利ヨリモ其ノ面積大ナリ。

日本ハ英國ヨリモ其ノ面積大ナリ。

故ニ、日本ハ伊太利ヨリモ其ノ面積大ナリ。

シカシ斯様ナ形式ニナツテ居レバ何時デモ正當ナ推理ガ成立スルト云フ譯ニハユカヌ。例ヘバ、

甲ハ乙ノ友人ナリ。

乙ハ丙ノ友人ナリ。

故ニ、甲ハ丙ノ友人ナリ。

之ハ明カニ誤デアアル。吾々ハ競技ノ技術ヲ比較スル場合ナドニハ屢々斯様ナ推理ヲスル。例ヘバ甲ハ乙ヨリモ圍碁ガ強い、乙ハ丙ヨリモ強いカラ甲ハ丙ヨリモ強いト云フ様ナコトヲ云フガ、之ハ甲ト乙、乙ト丙トノ技術ノ差ニ非常ナ懸隔ガアル場合ニハ勿論正當デアアルト認メテ差支ナイガ、如何ナル場合ニモ眞實デアアルトハ云ヘヌ。何故ニ同ジ様ナ形式ノ推理ノ中ニ斯様ナ差異ガ起ルノデアラウカ。蓋シ前ノ方向又ハ大小ニ關スル推理ト、前掲ノ如キ推理トハ推理其ノ者ノ性質ガ異ナルカラデアアル。以上ノ如キ推理ハ凡テ、

乙ハ丙ニ對シテ一定ノ關係ヲ有ス。

甲ハ乙ニ對シテ同様ノ關係ヲ有ス。

故ニ、甲ハ丙ニ對シテ同一ノ關係ヲ有スベキデアアル。

ノ如キ三段論法ト見做スコトガデキルガ、斯様ナ推理ガ正確デアアルタメニハ小前提ニ於ケル甲ノ乙ニ對スル關係ト大前提ノ乙ノ丙ニ對スル關係トガ同一テナケレバナラヌ。然ラザレバ大小兩前提ハ眞ニ結合サレナイ。從ツテ結論ハ得ラレナイト云フ結果ニナル。シカシ斯様ナ大小兩前提ニ掲ゲラレル關係ガ同一デアアルト云フコトガ確實ニ保證サレルタメニハ、斯様ナ關係ノ含マレテ居ル全體ノ體系ガ簡單デアツテ、其ノ全體中ノ部分ト部分トノ關係ガ悉ク明瞭ニ知悉サレ得ル底ノモノテナケレバナラヌ。若シサウテナイト一見同一ノ關係ガ存在スル様ニ見エテモ、實ハ吾々ノ測リ知ラザル差異、シカモ重要ナ本質的差異ガ潜在シテ居ルカモ知レヌ。其ノ様ナ場合ニハ到底確實疑フベカラザル結論ヲ之等ノ前提カラ下スコトガデキヌ。「甲ハ乙ノ友人ナリ、乙ハ丙ノ友人ナリ」ト云フ前提カラ「甲ハ丙ノ友人デアアル」ト云フ結論ガ下サレナイノハ、友人關係ノ體系ハ非常ニ複雑ナモノデア、簡單ナ一筋路ノ關係テナイカラデアアル。競技ノ優劣ノ關係ニ於テモ亦然リデアアル。然ルニ方向ヤ大小ノ關係、モット廣ク云ヘバ、空間及ビ時間ノ關係ニ於テハ全體ノ體系ガ簡單デアツテ、別ニ吾々ノ知ラナイ新シイ要素ガ這入ツテ一定ノ關係ヲ擾亂スルモノガナイト確信スルコトガデキルカラデアアル。即チ空間及ビ時間上ノ關係ニ於テハ甲・乙・丙ノ三者ガアツテ、其ノ甲ト乙、乙ト丙トガ一定ノ關係ヲ有ツテ居レバ、甲ト丙トモ同様ノ關係ヲ保持スルコトヲ疑フ餘地ガナイカラデアアル。斯様ナコトハ普通ノ三段論法ニ於テモ假定シテ居ルコトデアアル。從ツテ前ニ舉ゲタ方向ノ例デモ、強ヒテ之ヲ普通ノ三段論法ノ形式ニ合セヨウトスレバデキナイコトモナイ。例ヘバ、

凡テ京都ノ東ニ在ル名古屋ヨリモ更ラニ東ニ在ルモノハ京都ノ東ニ在リ。

東京ハ京都ノ東ニ在ル名古屋ヨリモ更ラニ東ニ在ルモノナリ。
故ニ、東京ハ京都ノ東ニ在リ。

要スルニ、カクノ如キ三段論法ノ大前提ガ自明ノ眞理トシテ省略サレテ居ルト見レバ、必ずしも普通ノ三段論法ノ規則ニ戻ルモノデハナイト考ラレル。

尙ホ一步ヲ進メテ考フルニ、以上ノ時間及ビ空間上ノ關係モ考ヘ方ニヨツテハ結論ガ必然的ニ演繹サレナイコトニモナル。前ニ述ブテ方向ノ推論ノ如キモ、平面上ニ位置ヲ占メテ居ルモノノ關係トシテ之ヲ考ヘルカラ、斯様ナ結論モ得ラレルノデアルガ、之テ一個ノ球面上ノ關係トシテ考フルバ結論ハ必ずしも正當デハナクナル。此ノ如ク關係ノ同一ガ存在スル所テハ正確ナ推理ガ可能デア
ルガ、シカシ關係ノ同一ト云フコトハ、與ヘラレタ關係ヲ擾亂スル要素ノ存在ガ豫メ考ヘ得ラレ
イ様ナ體系ニ於テノミ存在スルモノデアル。從ツテ幾何學ニ於ケルガ如ク、前提中ニ與ヘラレル關
係ハ非常ニ複雑デアツテモ、其ノ關係ノ屬ス體系其ノモノガ簡單デアツテ、吾々ガ其ノ全體ヲ充分
ニ會得スルコトノデキル様ナモノデアレバ、結論ヲ導ギ出スニ毫モ差支ハナイ。從ツテ又、同一ノ
關係ガ成立スル限リハ、甲・乙・丙ト云ツタ様ニ三個ノ關係ニ止トラズ、甲・乙・丙・丁・戊・己……
……ト幾個アツテモ、吾々ハ最初ノ項ト最終ノ項トノ間ニ同一ノ關係ヲ結論ニ於テ認ムルコトガデ
キル譯デアル。

四 假言的及ビ選言的三段論法

一 假言的三段論法

前件……理由
後件……歸結

假言的三段論法トハ假言的判斷ヲ基礎トセルモノデアツテ、其ノ普通ノ形式ハ大前提ガ假言的判斷ヨリ成リ、小前提及ビ結論ハ定言的判斷カラ成ツテ居ルモノデアル。假言的判斷ハ、「甲若シ乙ナレバ丙ハ丁ナリ」又ハ「若シ甲アレバ乙アリ」ト云フ形式デ現ハスコトヲ得ルモノデ、理由 Ground ト 歸結 Consequence トノ關係ノ判斷デアル。而シテ其ノ理由ノ「甲若シ乙ナレバ」又ハ「若シ甲アレバ」ハ前件 Antecedent ト云ヒ、其ノ歸結ノ「丙ハ丁ナリ」又ハ「乙アリ」ハ後件 Consequent ト稱スル。今、假言的判斷ヲ大前提トシテ、小前提ニ於テ其ノ前件ヲ肯定又ハ否定スルカ、或ハ其ノ後件ヲ肯定又ハ否定スルトキハ四種類ノ假言的三段論法ヲ得ル筈デアル。然ルニ假言的判斷ノ前件ト後件トノ關係ハ如何ト云フニ、前件若シ存在スレバ必ず之ニ伴ツテ後件ノ存在スルコトヲ現ハスト同時ニ、後件若シ存在セザル時ハ前件モ亦存在セザルコトヲ現ハシテ居ル。何トナレバ前件ノ存在シテ後件ノ之ニ伴ハナイコトハ許サレナイカラデアル。然シナガラ、前件若シ存在セザルトキハ後件モ亦存在セズトハ考フルコトハデキナイ。後件ノ存在スル理由ハ必ずしも獨リ前件ノミニ限ラナイカラデアル。又後件ノ存在セルコトニヨリテ直チニ前件モ亦存在セリトハ考フルコトハデキナイ。前件ハ存在セズ

トモ他ノ理由ニヨリテ後件ノ成立スルコトモアリ得ベキデアルカラデアアル。故ニ假言の三段論法トシテ正確ナル形式ハ小前提ニ於テ與ヘラレタル假言的判斷ノ前件ヲ肯定スル(構成式 Constructive mood)カ、後件ヲ否定スル(破壊式 Destructive mood)カデアアル。之ニ反シテ前件ヲ否定シ、若クハ後件ヲ肯定スルトキハ其ノ結論ハ不正確ノモノトナルヲ免レナイ。

構成式

前件ヲ肯定ス

人が毒藥ヲ飲ハズハ死ス

甲ナリ。

故ニ、乙ナリ。

(一) 甲ナラバ乙ナリ。

乙ナラズ。

故ニ、甲ナラズ。

破壊式

後件ヲ否定ス

以上ハ正確ナ三段論法デアアルガ、次ノ形式ハ不正確ナモノデアアル。

(二) 甲ナラバ乙ナリ。

乙ナラズ。

故ニ、甲ナラズ。

前件否定ノ誤

水ニ溺ルハ死ス。假ハ水ニ溺レテ大に溺ルハ死ス。

甲ナラズ。

故ニ、乙ナラズ。

(三) 甲ナラバ乙ナリ。

乙ナリ。

故ニ、甲ナリ。

後件肯定ノ誤

水ニ溺ルハ死ス。假ハ水ニ溺レテ大に溺ルハ死ス。媒縁不周延ノ誤。

(四) 甲ナラバ乙ナリ。

(三)ノ形式ハ之ヲ前件否定ノ誤 Fallacy of denying the antecedent ト云ヒ、(四)ヲ後件肯定ノ誤 Fallacy of affirming the consequent ト云フ。以上ハ假言的判斷ノ

形式ヲ専ラ肯定的ノモノトシテ現ハシタガ、勿論、前件及ビ後件ノ孰レカ一方、又ハ雙方共ニ否定的ノ形式ヲ取り得ルノデアアル。否定的ノ場合ニハ其ノ肯定ハ否定的ノ形式トナルガ、其ノ否定ハ肯定的ノ形式トナルコトヲ注意シテ置キタイ。

例ヘバ、第一ノ形式ノ代リニ、甲ナラズバ乙ナリ、甲ナラズ、故ニ乙ナリト云フガ如シ。今二一ノ實例ヲ舉グレバ、「人若シ眞ニ同情心ニ富マバ、朋友ノ不幸ヲ救済スル途ヲ講ズベシ」ト云フ假言的判斷ヲ基礎トシテ推理ヲスルトスル。今、

甲ナルモノハ眞ニ同情心ニ富メルモノナリ、彼ハ必ズヤ朋友ノ不幸ヲ救済スベキデアルト論ズルハ固ヨリ正當ナ推理デアアル。然シ甲ガ同情心ニ富マザルガ故ニ朋友ノ不幸ヲ救済シナイト考フルコトハデキヌ。何等カノ利己的動機ニ促サレテ其ノ不幸ヲ救フコトモアリ得ベキデアアル。從ツテ又不幸ヲ救済スル方法ヲ講ジタリ

トテ直チニ甲ヲ以テ同情心ニ富メル人トナスコトハデキナイ。シカシ、甲若シ朋友ノ不幸ヲ冷淡ニ看過シテ何等救済ノ方法ヲ講ジナイ場合ニハ、少クトモ甲ハ同情心ニ富メル人デナイト論ズル事ハ可能デアル。

此ノ點ニ關シテハ下ノ様ニ議論スル人ガ或ハアルテアラウ。甲若シ現在ニ於テ朋友ノ不幸ヲ救済スルハ却ツテ其ノ人ヲ墮落サスル虞レガアル、暫ラク時機ヲ待ツニ若クバト考フルカ、若クハ其ノ不幸ヲ救済スルハ眞ニ其ノ人ヲ救フ所以ニアラズト考フルガ故ニ、何等救済ノ方法ヲ講ゼザルガ如キ場合ニハ、甲ハ同情心ニ富メル人ニアラズト考フルコトハ却ツテ誤デアルト。之ハ尤モナ議論デアル。シカシ此ノ如ク考フルトキハ、人ハ同情心ニ富ミナガラ、何等ノ方法ニヨリテモ朋友ノ不幸ヲ救フコトシナイ場合ノアルコトヲ承認スルモノデアツテ、大前提ノ假言的判斷ヲ承認シナイト云フ結果ニナルノテル。問題ハ「眞ニ同情心ニ富マバ」ト云フコトノ解釋ニ在ル。故ニ假言的三段論法ヲ建設スルニアタリテ、其ノ假言的判斷ヲ正當ナモノト認ムル限リハ常ニ其ノ前件ノ肯定カラ後件ノ肯定ニ移ルカ、或ハ後件ノ否定カラ前件ノ否定ニ移ルガ正當ナ推理デアツテ、前件ノ否定ヨリ後件ノ否定ニ移リ、又ハ後件ノ肯定ヨリ前件ノ肯定ニ移ル推理ハ不正ノモノト爲サネバナラヌ。吾々ガ假言的判斷ヲ承認スルト云フ意ハ、前件ノ存在ニ伴フ後件ノ存在ハ必然的デアツテ、シカモ後件ノ存在ハ必ずシモ前件ノ存在ニ依ラナイコトヲ認ムルノデアル。實際ノ事實ニ於テハ、「甲ナレバ乙ナリ」ト云フモ、甲存在シテ居ナガラ、之ヲ相殺スルモノアリテ乙ノ存在ヲ妨グルコトモアリ得ベク、從ツテ又乙ノ存在シナイコトト甲ノ存在トガ兩立スル場合モアリ得ルノデアルガ、斯様ナコトヲ許ス場合ニハ假言的判斷ハ「甲ナレバ時トシテ乙ナリ」ト云フ判斷トナツテ(即チ特稱的)、

眞正ノ假言的性質ヲ失フコトニナルノデアル。故ニ假言的判斷ノ現ハス前件ト後件トノ關係ハ常ニ抽象的性質ノモノデアツテ、具體的事實ハ遙カニ複雑ナモノトナツテ居ルコトガ少クナイト云フコトヲ注意セネバナラヌ。

尙ホ此ノ點ハ假言的判斷ガ常ニ定言的判斷ノ形式ニ改ムルコトガデキテ、シカモ其ノ全體的判斷ノ形式ガ恰モ之ニ相當スルモノデアアルコトヲ考ヘテモ理解スルコトヲ得ル。例ヘバ「人若シ眞ニ同情心ニ富マバ、朋友ノ不幸ヲ救済スルノ途ヲ講ズベシ」ハ之ヲ「凡テ眞ニ同情心ニ富メル人ハ朋友ノ不幸ヲ見テ之ヲ救済スル方法ヲ講ズル人ナリ」ト變形スルコトヲ得ル。「若シ空氣ノ温度高マルレバ、寒暖計ノ水銀ハ上昇ス」ハ「凡テ空氣ノ温度高マル時ハ寒暖計ノ温度上昇スル時ナリ」ト改ムル事ヲ得ル。此等ノ定言的判斷ハ全稱肯定デアツテ、之ヲ換位スルトキハ限量換位ヲ用ヒネバナラヌ。之ニ依ツテモ、後件ノ肯定ガ必ずシモ前件ノ肯定ヲ伴ハナイコトハ分ル。

若シ假言的三段論法ニ於ケル前件ノ否定、若クハ後件ノ肯定ノ場合ヲ定言的三段論法ノ形式ニ現ハセバ、前者ハ大概念不當周延ノ誤、後者ハ媒概念不當周延ノ誤ニ陥レルコトガ明瞭ニ分ル。

故ニ若シ假言的判斷ノ前件ガ後件ヲ成立セシムル唯一ノ理由デアアル場合、即チ前件ト後件トヲ換位スルモ差支ナイ様ナ場合ニハ、前件ノ否定又ハ後件ノ肯定カラモ正確ナ結論ガ得ラレル譯デアアル。例ヘバ「若シ如何ナル物デモ、青色試験紙ヲ赤色ニ染ムルトキハ、夫レハ酸性デアアル」ノ如キハ「酸性ナ物ナレバ、必ず青色試験紙ヲ赤色ニ變ズル」ト改ムルコトモデキルモノデ、赤色ニ變ジナイカラ酸性デナイト推理シテモ、酸性デアアルカラ赤色ニ變ズルト推理シテモ毫モ誤ガナイ。カカル假言的判斷ハ、定言的判斷ニ就テ云ヘバ、主概念ノ範圍ト賓概念ノ範圍トガ全然一致シタ場合デ、全稱肯定ノ判斷デアリナガラ、單純換位ノ可能ナ場合ニ相當スル。

尙ホ假言的三段論法ノ中ニハ、大小兩前提及ビ結論ノ三者ガ悉ク假言的判斷カ
ラ成立スルモノガアル。論理學者ノ中ニハ此ノ形式ノモノヲ特ニ粹純假言的三段
論法ト稱スル人ガアル。其ノ形式ニ四種類ヲ區別スルコトガデキル。孰レモ前件
ノ肯定カラ後件ノ肯定へ、若クハ後件ノ否定カラ前件ノ否定へ推理スルモノデア
ル。

左ニ其ノ形式ト實例トヲ擧ゲテ置カウ。

(一) 甲ナラバ乙ナリ。

丙ナラバ甲ナリ。

故ニ、丙ナラバ乙ナリ。

之ハ定言的三段論法ノ第一格ニ相應スルモノデアアル。

惡疾流行スレバ多數ノ人死亡ス。

公衆ノ衛生思想幼稚ナレバ惡疾流行ス。

故ニ、公衆ノ衛生思想幼稚ナレバ多數ノ人死亡ス。

(二) 甲ナラバ乙ナリ。

丙ナラバ乙ナラズ。

故ニ、丙ナラバ甲ナラズ。

之ハ定言的三段論法ノ第二格ニ相應スル。

(三) 若シ甲ナラズバ乙ナリ。

若シ甲ナラバ丙ナリ。

故ニ、丙ナラズバ乙ナリ。

之ハ定言的三段論法ノ第三格ニ相應スル。

(四) 若シ甲ナラバ乙ナリ。

若シ乙ナラバ丙ナリ。

故ニ、若シ丙ナラズバ甲ナラズ。

之ハ定言的推理ノ第四格ニ相應スルモノデアアル。

二 選言的三段論法

選言的三段論法ハ選言的判斷ヲ基礎トセル推理デアアル。第一前提ハ選言的判斷
デアツテ、第二前提ニ於テ其ノ選言肢、即チ彼カ此カト選擇取捨スベキ事項ノ孰
レカラ肯定又ハ否定シテ結論ヲ導キ出スモノデアアル。選言的判斷ハ「甲ハ乙ナル
カ丙ナルカナリ」ノ如キ形式ヲ取ルモノデアツテ、其ノ選言肢中孰レヲ取ルベキ
カハ明確デナイガ、其ノ孰レカラ取ルコト云フノガ此ノ判斷ノ意義デアアル。
即チ「甲ハ乙ナルカ丙ナルカナリ」ノ判斷ニ於テ、甲ハ乙デアアルカ、若クハ丙デ
アルカハ明カデナイケレドモ、甲ハ乙・丙二者ノ中必ズ其ノ一デナケレバナラズ
ト云フ意デアアル。故ニ甲若シ乙ナル時ハ、甲ハ丙ニアラズ、甲若シ丙ナル時ハ、
甲ハ乙ニアラズト云フ意味ガ含マレテ居ル。而シテ反對ニ、甲若シ乙ニアラザル

時ハ甲ハ必ズ丙デナケレバナラヌ。甲若シ丙ニアラザルトキハ甲ハ乙デナケレバナラヌト云フ意味モアル。故ニ「甲ハ乙ナルカ、丙ナルカナリ」ト云フ選言的判斷ヲ基礎トセル三段論法ニハ次ノ如キ形式ガ存在スル。

破壊式

- (一) 甲ハ乙ナルカ、丙ナルカナリ。
甲ハ乙ナリ。
故ニ、甲ハ丙ナラズ。
- (二) 甲ハ乙ナルカ、丙ナルカナリ。
甲ハ丙ナリ。
故ニ、甲ハ乙ナラズ。

構成式

- (三) 甲ハ乙ナルカ、丙ナルカナリ。
甲ハ乙ナラズ。
故ニ、甲ハ丙ナリ。
- (四) 甲ハ乙ナルカ、丙ナルカナリ。
甲ハ丙ナラズ。
故ニ、甲ハ乙ナリ。

之ハ選言肢ガ二個ニ止マル場合デアアルガ、若シ三個以上ニナルト、推理ノ形式ハ頗ル多數トナル。而シテ其ノ結論ハ定言的判斷ニ止マラズシテ選言的判斷トモナル。例ベバ、

- 甲ハ乙ナルカ、丙ナルカ、丁ナルカナリ。
- 甲ハ乙ニアラズ。
- 故ニ、甲ハ丙ナルカ、丁ナルカナリ。

選言的判斷ハ一見、甚ダ不明瞭ナ知識ノ如クデアアルガ、其ノ實、充分ニ明確ナ知識ヲ有ツテ居ナケレバ、眞ノ選言的判斷ヲ下スコトハデキヌ。即チ真正ナ選言的判斷ハ、第一ニ、其ノ選言的ニ舉ラルル事項ハ一切網羅シ盡サレテ剩ス所ガナイ様デナケレバナラヌ。第二ニ、其ノ選言的事項ノ範圍ガ相互ニ排斥シ合ツテ、重ナリ合フ様ナコトガナイ様ニナツテ居ナケレバナラヌ。若シ此ノ二條件ガ具體サレテ居レバ、選言的判斷ノ選言ガ完全ナモノデアアルガ、然ラザレバ不完全ナ選言トナル。不完全ナ選言的判斷ガ基礎ニナツテ推理ガ組立テラレル場合ニハ其ノ推理ハ誤謬ニ陥ルノデアアル。例ヘバ、

- 此ノ三角形ハ二等邊三角形ガ、直角三角形カデアアル。
- 此ノ三角形ハ二等邊三角形デアアル。
- 故ニ、直解三角形デハナイ。

之ハ二等邊三角形ト直角三角形ト云フ選言的事項ノ範圍ガ相互ヒニ排斥シナイ所カラ生ズル誤デアアル。三角形ハ直角三角形デアツテ、シカモ同時ニ二等邊三角形デアリ得ルノデアアル。

三 チレンマ

以上、定言的・假言的及び選言的三段論法ヲ述ベタガ、最後ニ、定言的・假言的及び選言的判斷ガ相結合シテ生ズル一種複雑ナ三段論法ヲ述ベル。之ハ第一前提ガ二個以上數個ノ假言的判斷デアツテ、第二前提ニ於テ此ノ假言的判斷ノ前件全部ヲ選言的ニ肯定スルカ、又ハ其ノ後件ノ全部ヲ選言的ニ否定スルカニヨリテ結論ヲ得ルモノデアアル。其ノ最モ普通ナ形式ハ第一前提ガ二個ノ假言的判斷カラ成ツテ居ルモノデ、之ヲ「ヂレンマ」Dilemma (二重體・兩刀論法・雙肢式・雙關體等ノ譯語ガアル)ト稱スル。之ニ四種ノ形式ガアル。

第一。甲ナレバ乙ナリ。丙ナラバ乙ナリ。

甲ナルカ、丙ナルカナリ。

故ニ、乙ナリ。

之ハ第一前提ノ兩後件ガ同一ナモノデ、第二前提ニ於テ其ノ前件ヲ選言的ニ肯定シタモノデ、結論ハ定言的判斷デアアル。結論ノ定言的デアル所カラ、此ノ種ノモノヲ簡單ナ「ヂレンマ」ト云フ。而シテ前件ヲ肯定スル所カラ、之ヲ構成的「ヂレンマ」ト稱スル。即チ此ノ形式ハ簡單構成的「ヂレンマ」Simple constructive dilemma デアル。

簡單構成的「ヂレンマ」ノ例。

彼若シ今ニ於テ其ノ祕密ヲ他人ニ洩ラサバ世間ノ非難ヲ受クベシ、彼若シ依然トシテ其ノ祕密ヲ守ランモ、世間ノ非難ヲ受クベシ。

彼ハ今、其ノ祕密ヲ他人ニ洩ラスカ、將ニ依然トシテ其ノ祕密ヲ守ルカ、彼トシテハ他ニ取ルベキ途ナシ。

故ニ、孰レニシテモ彼ハ世間ノ非難ヲ免レズ。

第二。甲ナレバ乙ナリ、甲ナレバ丙ナリ。

乙ナラザルカ、丙ナラザルカナリ。

故ニ、甲ナラズ。

第一前提ノ兩前件ガ同一ナモノデ、第二前提ハ其ノ後件ヲ選言的ニ否定シテ定言的結論ヲ得タモノデアアル。故ニ此ノ種ノ「ヂレンマ」ヲ簡單破壞的「ヂレンマ」Simple destructive dilemma ト稱スル。

簡單破壞的「ヂレンマ」。

若シ彼ガ眞ノ學者ナラバ意識シナガラカカル不明ノ譯テスル筈ガナイ。又意識セズシテ不明ノ譯テスルトモ考ヘラレナイ。

然ルニ彼ハ意識シナガラ譯シタカ、意識セズシテ譯シタカ何レカデアアル。

故ニ何レニシテモ彼ハ眞ノ學者デナイ。

簡單破壞的「ヂレンマ」ニ就イテハ古來議論ガアル。

[Zeno]

If a thing moves, it must move either in the place where it is
or in the place where it is not.

But it can't move where it is, nor can it move where it is not.

There it can't move.

第三。 甲ナレバ乙ナリ、丙ナレバ丁ナリ。

甲ナルカ、丙ナルカナリ。

故ニ、乙ナルカ、丁ナルカナリ。

之ハ第一前提ノ前件後件共ニ異ナツテ居ルモノデ、第二前提ハ其ノ兩前件ヲ選言的ニ肯定シテ居ル。而シテ其ノ斷案ハ選言的判斷デアアル。故ニ之ヲ複雜構成的

「ヂレンマ」Complex constructive dilemma ト稱スル。

複雜構成的「ヂレンマ」。

彼若シ事實既往ノ行動ノ惡シカリシチ知リテ之ヲ改メズバ、人ヲ欺クノ罪ヲ犯スベシ。若シ又之ヲ改メナバ變節ノ非難ヲ蒙ルベシ。

彼ハ其ノ行動ヲ改ムルカ、改メザルカ、二者其ノ一ヲ取ラザルベカラズ。

故ニ、彼ハ人ヲ欺クノ罪ヲ犯スカ、變節ノ非難ヲ蒙ルベシ。

第四。 甲ナレバ乙ナリ、丙ナレバ丁ナリ。

乙ナラザルカ、丁ナラザルカナリ。

故ニ、甲ナラザルカ、丙ナラザルカナリ。

之ヲ前ト同様ノ理由カラ、複雜破壞的「ヂレンマ」Complex destructive dilemma ト云フ。

Caliph Omar.

{If these books contain the same doctrines as the Koran they are unnecessary; and if they are at variance with the Koran, they are wicked and pernicious.

{But they must either contain the same doctrines as the Koran or be at variance with it.

{Then these books are either unnecessary or wicked and pernicious.

複雜破壞的「ヂレンマ」。

若シ軍人ニシテ其ノ本分ニ忠實ナランカ、上官ノ命令ニ服從スベシ。若シ軍人ニシテ賢明ナランカ、上官ノ命令ヲ理解スベシ。

彼ハ上官ノ命令ニ服從セザリシカ、若クハ其ノ命令ヲ理解セザリシカナリ。

故ニ、彼ハ其ノ本分ニ忠實ナラザリシカ、然ラザレバ賢明ナラザリシカナリ。

「ヂレンマ」ト云フ語ハ日常ニ於テモ、取ルベキ途ガ二ツシカナイ状態ニ陥ツテ、其ノ孰レヲ取ルモ、自己ニ取ツテ不利ナ時ニ用ヒラレテ、屢々「ヂレンマ」ニ陥ツタト云フ様ナコトガ云ハレル。重盛ガ「忠ナラント欲スレバ孝ナラズ、孝ナラント欲スレバ忠ナラズ」ハ即チ「ヂレンマ」ノ状態デアアル。重盛ニ取ツテハ忠ナラントスルカ、孝ナラントスルカノ外ニ速ガナイノデアツテ、其ノ結果ハ不忠不孝ノ孰レカラ取ラネバナラス。故ニ之ヲ前述ノ形式ニ當テ嵌ムレバ、複雜構成的「ヂレンマ」ニ相當スルモノデアアル。「ヂレンマ」ノ性質ハ以上ノ例ニヨツテモ明白ナ如ク、他人ノ説ヲ辯難攻撃スルニハ極メテ銳利ナ武器デアツテ、先ヅ敵ヲシテ其ノ第一前提ヲ肯定セシメ、然ル後二者孰レカ其ノ一ヲ擇バネバナラスコトヲ示シ、續イテ其ノ孰レヲ取ルモ敵ニ取ツテハ不利ナ結論ニ到達スルコトヲ明カニスルモノデアツテ、所謂其ノ咽ヲ扼シテ其ノ背ヲ搏ツノ論法デアアル。故ニ古

來、他人ノ議論ヲ論破シテ自己ノ主張ヲ貫徹スルニ當リ、論客ノ慣用スル所トナ
ツタモノデアアル。此ノ如ク銳利ナ武器デアルダケ、之ヲ使用スルニ當ツテハ細心
ノ注意ヲ要スル。然ラザレバ誤謬ニ陥ルコトヲ免レヌ。「デレンマ」ヲ用フルニ
就テ注意スベキ點ハ、

A ナラバ C. B ナラハ D.
A ナラバ非 D. B ナラバ非 D.

第一。假言的判断ノ前件ト後件トノ關係ハ必然的性質ノモニデナケレバナラ
ヌ。然ラザレバ、眞ノ假言的判断デナイコトニナツテ、從ツテ推理ヲスルコ
トハデキヌ様ニナル。

第二。小前提ノ選言的事項ハ完全ニ選言的性質ノモノデナケレバラヌ。即
チ選言的事項ノ一切ガ網羅サレテ遺漏ナク、且ツ其ノ範圍ガ相互ヒニ排斥シ
合ハネバナラス。

第三。小前提ハ假言的判断ノ前件ヲ肯定スルカ、其ノ後件ヲ否定セネバナラ
ヌ。

次ニ「デレンマ」ノ興味アル例ヲ示サウ。

(一)。或ル「アセンス」人ノ母、其ノ子ニ向ツテ曰ク、汝ハ公事ニ與ルコトヲ爲シテハナラヌ。
何トナレバ、汝若シ正直ナラバ、他人ハ汝ヲ惡ムデアラウ、汝若シ不正直ナランカ、神ハ汝ヲ惡ム

ニ相違ナイカラ。「アリストテレース」此ノ言ヲ聽イテ之ヲ評シテ曰ク、「アセンス」人ノ母ノ云フ
所ハ誤ツテ居ル、余ノ如キハ是非共、公事ニ與ルコトヲ勉メネバナラス、余若シ正直ナラバ、神ハ
余ヲ愛スルデアラウ。若シ不正直ナラバ、他人ガ吾ヲ愛スルニ相違ナイカラデアアル」ト。

當一返、不當

(二)。一頭ノ鱷魚、小兒ヲ捕ヘテ將サニ之ヲ殺サントシテ居ル。小兒ノ父、鱷魚ニ向ツテ曰ク、
余若シ汝ノ意志ヲ忖度シテ當ラバ小兒ヲ返シテ呉レ。鱷魚曰ク諾。父曰ク、「汝ハ余ニ小兒ヲ返ス
意志ハナイノデアラウ。余ノ此ノ言ハ汝ノ意志ヲ推察シ得タカ、得ナイカ、孰レカ其ノ一ツデアアル
ニ相違ナイ。若シ幸ヒニ當レリトスレバ、汝ハ約束ニヨツテ小兒ヲ返サネバナラス。若シ又當ラズ
トスレバ、返スノ意志ガナイト云フコトガ當ツテ居ナイノデアアルカラ、返スノ意志ガアルト云フコ
トニナル。故ニ孰レニシテモ、汝ハ小兒ヲ返サネバナラス。」鱷魚之ニ對シテ答ヘテ曰ク、「余ニハ
孰レニシテモ、小兒ヲ返ス義務ハナイ。何トナレバ、汝ノ言若シ眞ニ余ノ意志ヲ推察シ得タトスレ
バ、返スノ意志ガナイノデアアルカラ、返スコトヲ要シナイ。若シ又、汝ノ言ガ余ノ意志ヲ推察シ得
ズトスレバ、余ハ約束ニヨツテ之ヲ返ス義務ヲ負ハヌ。」

(三)。希臘人「オイアトルス」ト云フモノ、有名ナ詭辯學者「プロタゴラス」ニ就テ辯論ヲ學ブ
タメニ其ノ門ニ入ツタ。入門ノ際、帥ト契約ヲシテ其ノ報酬ノ半ハ直チニ之ヲ呈シ、残りノ半分ハ
他日業ヲ卒ヘ、法廷ニ立チテ始メテ訴訟ニ勝チ占ムル時支拂ヲ爲ルコトヲ約シタ。業成リテ時ヲ經
ルモ一向残りノ報酬ヲ支拂フコトガナイノデ、「プロタゴラス」怒リテ之ヲ法廷ニ訴フ。曰ク、「汝
ハ孰レニシテモ之ヲ支拂フ義務ガアル。汝若シ訴訟ニ勝タバ、先キノ契約ニヨリ之ヲ支拂ネバナラ
ヌ。若シ又負クレバ法廷ノ判決ニヨリテ之ヲ支拂ハネバナラス。」

「オイアトルス」答ヘテ曰ク、「孰レニシテモ支拂フ義務ハナイ。余若シ訴訟ニ勝タンカ、法廷ノ
判決ニヨリ、其ノ義務ヲ免レルコトトナル。敗レンカ、契約ニヨリ、他日訴訟ニ勝ツノ日マデ之ヲ

延期スルコトニナル。」

以上三例トモ同一形式ノモノデアアル。生徒試ミニ、之ヲ「チレンマ」ノ形式ニ整へ、然ル後、其ノ誤謬ノ那邊ニ存在シテ居ルカラ説明シテ見ルベシ。

「チレンマ」ハ其ノ第一前提ガ二個ノ假言的判斷カラ成ツテ居ルノデアアルガ、尙ホ三個以上數個ノ假言的判斷カラ成立スルコトモアリ得ルノデアアル。此ノ場合ニ於テハ第二前提ノ選言的事項ガ二個ニ止マラズシテ三個以上數個ニ達スル。其ノ三個ノ場合ハ之ヲ三重體 Trilemma (三肢式トモ譯ス)ト云ヒ、四個ノトキハ四重體 Tetralemma (四肢式)、五個以上ノトキハ多重體 Polylemma (多肢式)ト云フ。

古來兩刀法ノ選言肢ヲ特ニ角 Horns ト名付ケタ。即チ議論テ相手ヲ追ヒツメル武器ノ意味デアアル。

五 定言的制斷・假言的判斷及ビ選言的判斷相互關係

以上定言的・假言的及ビ選言的三段論法ニ就テ述べ來ツタガ、此等ノ推理ハ全く無關係ノモノデハナクシテ、相互ヒニ密接ナ關係ヲ有ツテ居ルモノデ、形式ハ異ナツテハ居ルガ、畢竟同一原理ニ基ツイテ成立セルモノデアアル。之ヲ説明スルタメニハ自然、定言的判斷・假言的判斷及ビ選言的判斷三者ノ關係ヲ明カニスルノ必要ガアル。

假言的判斷ハ之ヲ定言的判斷ニ變形シ得ルモノデ、從ツテ假言的三段論法ハ之ヲ定言的三段三法ニ改ムルコトガデキル。然ルトキハ假言的判斷ノ前件ヲ否定スルコトニヨリテ結論ヲ得ル場合ハ大概念ノ不當周延トナリ、後件ヲ肯定シテ結論ヲ得ル場合ハ媒概念不周延トナツテ、誤謬ニ陥ルコトハ前章ニ於テ既ニ述べタ通りデアアル。故ニ定言的判斷ヲ基礎トセル定言的推理ト假言的判斷ヲ基礎トセル假言的推理トハ推理トシテ根本的ニ其ノ性質ヲ異ニセルモノデハ無イト云フコトハ容易ニ首肯サレル。但シ定言的判斷ト假言的判斷トノ間ニ見逃スコトノデキナイ一ツノ差異ガアル。

假言的判斷ハ之ヲ適當ナ方法デ定言的判斷ニ變形スルコトガデキルト同ジク、定言的判斷モ亦之ヲ假言的判斷ニ變形スルコトガデキル。例へバ、攝生ヲ怠ル人ハ病氣ニ罹リ易イト云フ判斷ハ之ヲ、人若シ攝生ヲ怠レバ病氣ニ罹リ易イト改ムルコトガデキル。然シ凡テノ定言的判斷ガ直チニ假言的判斷ニ變ズルコトノデキ

ルモノデハナイ。特殊ナ個體ヲ主概念トスル判断、例へバ、「之ハ鉛筆デアアル」
 「彼ハ盲人デアアル」「秀吉ハ英雄デアアル」ト云フガ如キハ假言的判断トハ性質ヲ異
 ニスルモノデ、之ヲ假言的ノ形式ニ變化スルコトハ不可能デアアル。又主概念ガ個
 體的ノモノニアラズシテ普通名詞デアアル判断デモ、特稱判断、即チ主概念ノ一部
 ノ範圍ノミニ就テ主張サルル判断、例へバ「若干ノ人ハ狂人デアアル」ト云フガ如
 キ判断モ亦、之ヲ假言的判断ニ變形スルコトハ困難デアアル。然ルニ全稱的判断ニ
 至レバ、容易ニ之ヲ假言的判断ニ變ズルコトガデキル。例へバ、「人ハ皆死スベ
 キモノデアアル」ト云フ判断ハ之ヲ「人ナラバ死スベキデアアル」ト改メテ、前件ノ
 存在ト共ニ後件ノ存在ヲ示スモノトスルコトガデキル。蓋シ人タル以上ハ必ず可
 死的性質ヲ具有スルモノデ、此ノ性質ヲ具有セザル不老不死ノモノハ人ニアラズ
 ト考フルコトガデキルカラデアアル。

同ジク全稱判断デモ、「政府黨ノ議員ハ凡テ此ノ議案ニ賛成ス」ト云フガ如キ判断ハ「政府黨ノ議
 員ナラバ此ノ議案ニ賛成ス」トスルコトガ不可能デハナイガ、シカシ此ノ場合ノ假言的判断ノ前件
 ト後件トノ關係ハ必然的性質ガ乏シイ。蓋シ「政府黨ノ議員ハ凡テ此ノ議案ニ賛成ス」ト云フ定言
 的判断ノ「此ノ議案ニ賛成」ト云フコトハ政府黨ノ一々ノ議員ノ意見ヲ調査シテ之ヲ知ツタカ、又
 ハ政府黨ノ議決ニ現ハレタ所カラ判断シタモノデ、政府黨タルコトト、此ノ議案ニ賛成スルコトト

ノ間ニ何等本質上ノ關係アルコトヲ承認シナイカラデアアル。彼等ハ事情ヲ異ニセバ政府黨デアリナ
 ガラ、此ノ議案ニ不賛成ヲ表シタカモ知レナイノデアアル。之ニ反シテ「人ハ總テ死スベキモノデア
 ル」ノ判断ニ於ケル「凡テノ人」ハ「人タルモノハ」ノ意デアツテ、人ノ本質ニ「可死的」ト云フ
 性質ガ具備サレテ居ルコトヲ言ヒ現ハシタモノト考ヘネバナラス。從ツテ兩者ノ關係ハ必然的デア
 ル。從ツテ「人タルコト」ヲ「死スベキコト」ノ理由ト見、「死スベキコト」ヲ「人タルコト」ノ
 歸結ト見テ假言的判断ヲ組ミ立ツルコトガデキル譯デアアル。「恆産ナキモノハ恆心ナシ」ト云フ判
 断ノ如キハ、「恆産」ト「恆心」トノ間ニ離スベカラザル關係ノ存在スルコトヲ言ヒ現シタモノデ、
 吾々ハ容易ニ之ヲ「恆産ナクバ恆心ナシ」ト假言的判断ニ改ムルコトガデキル。

故ニ吾々ハ凡テノ判断ニ定言的要素ト假言的要素トガ共ニ存在シテ居ルト見ル
 コトガデキル。而シテ判断ニヨツテ其ノ孰レカ一方ガ顯著ニナツテ居ル。單一判
 断（個體的判断トモ云フ）又ハ特稱判断ニ於テハ定言的要素ガ著ルシク現ハレテ
 居ルガ、全稱判断ニナルト假言的性質ガ著ルシクナル。全稱判断ノ中デモ枚舉的
 ノモノヨリモ、主概念ノ本質的性質ヲ言ヒ現ハセルモノニ於テ特ニ著ルシイ。假
 言的性質ト云フノハ理由ト歸結トノ必然的關係ヲ含ンデ居ル事ヲ云フノデアツ
 テ、幾何學上ノ定理、例へバ、「二等邊三角形ノ底邊ノ角ハ相等シ」ト云フガ如キ
 ハ、二等邊三角形ト云フコトト、底邊ノ角ガ相等シイト云フコトトノ間ニ必然的
 關係ノ存スルコトヲ言ヒ現ハシタモノデ、三角形ノ二邊ガ相等シケレバ、其ノ底

邊ノ角ガ相等シト云フ意味ニ解スルコトガデキル。然ルニ「此ノ花ハ白シ」「若干ノ人ハ盲人ナリ」ト云フガ如キ判断デバ、主概念ト賓概念トノ關係ハ寧ロ偶然的デアツテ必然的デナイ。假令全稱的判断デモ「日本人ハ亞細亞人ナリ」ト云フガ如キモノデハ寧ロ單ニ日本人ガ亞細亞人ノ一部トシテ存在スル事實ヲ言ヒ現ハシタモノト見ルベキデ、假言的性質ハ比較的顯著デハナイ。然ルニ「雪ハ白シ」ト云フ判断ニナレバ、雪デアル以上ハ必ズ白イト云フ性質ヲ具ヘテ居ルノ意デ、假言的性質ハ甚ダ顯著デアル。故ニ感官的知覺ニヨル判断、又ハ單ニ歴史的敘述ノ判断ノ如キモノハ、直接ニ特殊ナ物體・人物又ハ事件ニ關スルモノデ、定言的デアルガ、吾々ノ思想ガ知覺カラ進ンデ説明ニ移リ、特殊ノ事實カラ一般的法則ニ移ル様ニナレバ、假言的性質ガ明カナナルデアルトモ云ヘル。

選言的判断ハ如何ト云フニ、之ハ假言的判断ノ特殊ナ形式ニナツタモノト見做スコトガデキル。即チ「甲ハ乙ナルカ、丙ナルカナリ」ト云フ判断ハ「甲若シ乙ナラバ甲ハ丙ナラズ」「甲若シ丙ナラバ甲ハ乙ナラズ」「甲若シ乙ナラズバ甲ハ丙ナリ」「甲若シ丙ナラズバ甲ハ乙ナリ」ト云フ四個ノ假言的判断ヲ一絡ニシタモノ、今少シ簡單ニ云ヘバ、「甲若シ乙ナラバ甲ハ丙ナラズ」及ビ「甲若シ乙ナラズバ

甲ハ丙ナリ」ト云フ二ツノ假言的判断ノ一絡ニナツタモノト見ルコトガデキル。何トナレバ、前述ノ「甲若シ丙ナラバ甲ハ乙ナラズ」ハ第一ノ判断ノ後件ノ否定カラ前件ノ否定ニ移ツタモノデアリ、「甲若シ丙ナラズバ甲ハ乙ナリ」ト云フ判断ハ、第二ノ判断ノ後件ノ否定カラ前件ノ否定ニ移ツタモノト見ルコトガデキルカラデアル、故ニ選言的判断ハ幾多ノ選言的事項ヲ掲ゲテ其ノ中孰レトモ決定シナイ點カラ云ヘバ、甚ダ漠然タル知識デアル様ニ見エルガ、其ノ實ハ此等ノ事項ニ就テ充分明確ナ知識ヲ有シナイ限り、カカル判断ヲ下スコトハ不可能デアル。「彼ノ毎日曜日ニ讀ム書ハ聖書カ、若クハ其ノ他書デアル」ト云ツタ様ナ判断ハ、形式ハ選言的デアルガ、嚴密ナ意味ノ選言的判断デハナイノデアル。

此ノ如ク考ヘ來ルト、定言的判断、假言的判断及ビ選言的判断ハ形式コソ異ナツテ居ルガ、決シテ根本ノ性質ニ於テ明瞭ニ區別シ得ラルルモノデハナイ。從ツテ此等ノ判断ヲ基礎トスル定言的・假言的及ビ選言的三段論法ノ間ニハ根本的差異ノナイコトガ理解サレル。